



しめくくりをしっかりと

何事もはじめと終わりが肝心！

人は新しいことには、やる気を見せるが、続けることがなかなか難しいものです。

大人社会の中でも「始めは盛大にスタートするが、途中から次第次第に協力者が去っていき、最後に残されたものが、始末を一手に引き受けて苦労する。」ということは、よくあるものです。

首尾一貫（初めから終わりまで、態度や方針が、ずっと同じで変わらないこと。意見や主張などをひとすじに貫いて、矛盾がないこと。）大切であっても、実践するのはたやすくはありません。

しかし佐喜浜小5・6年生は、下記の交通少年団活動においても、スタンダード授業スタイルにおいても、また朝の集会活動においても、**有終の美**を飾るべく、いつも全力で頑張ってくれています。本当に頭の下がる想いです。

残された日々は多くはありませんが、この子たちとともに過ごせることに喜びと感謝の気持ちをいただきながら、私たち教職員一同、**一簣之功**（仕事をやり遂げるための最後のひとふんばり。また、仕事を遂行するために積み重ねる一つ一つの努力）を果たして、充実した日々を送っていきたいと思います。



学習発表会に向けて

2月25日（日）に行う、佐喜浜小学習発表会では、全校児童による音楽発表やダンス発表があります。毎週月曜日の全校音楽において、その練習に励んでいます。みんな少しずつ上達してきました。当日を「お楽しみに！

全校合唱 「愛の花」

リコーダー・鍵盤ハーモニカ演奏 「エーデルワイス」

全校児童合奏 「ミッキーマウスマーチ」

全校児童ダンス「ダイナマイト」

全校児童及び教職員合奏

「威風堂々」



なわとび集会に向けて

2月5日（月）には、冬恒例の「なわとび大会」が予定されています。それに向けて、今子どもたちは休み時間に体育館で自主練習にも取り組んでいます。

「なわとび」なわ一本で手軽にできる体幹トレーニングです。リズム感や瞬発力や巧緻性などの効用も多種多様です。当日は、長縄とびもあります。

自己新記録、そしてできなかった種目へのチャレンジ等、子どもたちの元気ながんばる姿がたくさん見られる日になりそうです。

